



福島小学校

# 校長室だより

No. 7

平成27年11月4日

ホームページ <http://www9.wakayama-wky.ed.jp/fukushima/>

## ふれあい給食を行いました

10月23日(金)に、「ふれあい給食」を行いました。この日は、まず教室で家から持ってきたお弁当箱に給食を詰め替えます。その次に、縦割り班の教室に移動し、グループの子たちと給食を食べます。食べ終わったら、外に出てグループごとに遊びます。給食時間に各教室をまわりましたが、机を丸くして食べているグループや机を寄せて食べているグループなどがあり、いつもと違うメンバーなのでここにこしながら食べていました。給食後は、中庭で追いかけて遊んでいるグループや運動場でドッチボールをしているグループが多かったです。みんな、すごく楽しそうに遊んでいました。



## 3年 薬物乱用防止教室



10月22日(木)に、薬物乱用防止教室として「禁煙教室」を行いました。タバコの副流煙の学習をした後、講師の先生から「おうちの人がタバコを吸っていたら、何と言ってあげますか。」の質問



に対して、子どもたちが「吸ったらだめよ。」「吸ったらガンになるよ。」と答えると、「優しく、継続的に言ってあげてくださいね。」と指導されていました。

## 5年 関西電力出前授業



10月23日(金)に、関電の電気の学習の出前授業がありました。電気はどのようにして作るのかの学習の後、実際に手持ちの機械などを使って電気を作っていました。豆電球に明かりをとますの



に、必死になっていました。電気を無駄にはいけないなあと思いました。10月30日には、現場学習として関電の御坊発電所の見学に行ってきました。

## 〇〇の秋

〇〇にはいろんな言葉が入ります。「食欲」「スポーツ」、そして「読書」などです。この2年間の学力・学習状況調査の児童質問紙を見ていると、ゲームをしたりテレビをみたりしている時間が、本校の子どもたちは全国平均よりはるかに多いです。ゲームやテレビの時間をできるだけ減らして、毎日少しずつでも読書をするようにしてほしいと思います。

そのうち得する

## うちどく（おうちで読書）のすすめ



### 「うちどく」とは

家庭で子どもといっしょに読書する時間を持ち、本を中心として会話したり、記録したりする取り組みを、「おうちで読書」略して「うちどく」と言います。

### 「うちどく」の方法は

進め方に特にきまりはありません。家庭の事情や発達年齢に応じて、1週間に1日30分から1時間程度、テレビを消して、パソコンを閉じて、家族一緒におうちで読書する習慣を定着させることを願うものです。

### 「うちどく」のよさ

- ・「うちどく」により家族一緒に過ごす時間が増えます。家族や親しい人と本の内容について語り合う経験を積み重ねることが、子どもの心を潤し耕していきます。
- ・本を中心に、読む、書く、伝え合う、暗記するなどの総合的な言語活動が展開でき、「ことばの力」を育てていくことができます。
- ・読書を続けることで、子どもに人間の生き方や社会、自然についての正しく豊かな見方、考え方、感じ方を身につけさせることができます。それは、やがて子どもの心に「徳」となって根付いていきます。



### 「うちどく」マニュアル

1. 家族で話し合って「うちどくの日」を決めよう。
2. 我が家のうちどくスタイルを話し合って決めよう。
3. 家族で話し合って読む本を決めよう。
4. ノーテレビ・ノーゲームでうちどくをしよう。
5. 年齢に合ったスキンシップをとりながらうちどくしよう。
6. 我が家のうちどくの記録を残そう。
7. 家庭文庫を作ろう。
8. 図書館に行こうデーをつくろう。
9. うちどくの輪を広げよう。

和歌山市教育委員会では、子どもの心身ともに豊かですこやかな成長を願って

「うちどく」を推進しています。